

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 日本インシュレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5368 URL <https://www.jic-bestork.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉井 智彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経営企画部部长 (氏名) 金子 一郎 (TEL) 06-6210-1250
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,985	△14.6	661	△49.1	660	△50.8	431	△43.9
2022年3月期第3四半期	10,524	2.4	1,298	△15.4	1,342	△10.5	768	42.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 463百万円(△35.7%) 2022年3月期第3四半期 721百万円(28.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	49.86	—
2022年3月期第3四半期	88.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,085	12,178	75.7
2022年3月期	16,450	12,080	73.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 12,178百万円 2022年3月期 12,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	12,900	△8.6	1,451	△22.0	1,449	△23.4	894	△22.0	103.30	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,707,200株	2022年3月期	8,707,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	65,815株	2022年3月期	17,415株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,648,851株	2022年3月期3Q	8,689,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。したがって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性も有しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種感染症対策や行動制限の緩和等もあって、緩やかながらも景気が持ち直す一方で、海外景気の下振れがわが国景気を下押しするリスクがあり、加えて原料、燃料の価格高騰、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に必要な状況が続いております。

当社グループの業績につきましては、原料・燃料費が高騰し製造原価を押し上げている状況を踏まえ、昨年に顧客等への製品価格の値上げを実施し、浸透を図っていますが、これを上回る原料・燃料費の著しい上昇が収益を圧迫している状況であります。建築関連では、大型の耐火被覆工事が減少したことから工事部門全体として売上高は微減で推移しましたが、耐火被覆材の販売部門では価格転嫁の効果に加え、需要量が回復しつつあり、売上高は前年同期比で増加しました。プラント関連では、工事部門で定期修繕工事、メンテナンス工事が堅調に推移するも、ここ数年続いていた電力プラント等の大型建設工事案件が一服したこと、保温材の販売部門で価格転嫁の進展があるものの、需要量の回復に時間がかかっていること等により、売上高は前年同期比で減少しました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は8,985,473千円(前年同期比14.6%減)、営業利益は661,496千円(前年同期比49.1%減)、経常利益は660,258千円(前年同期比50.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は431,200千円(前年同期比43.9%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<建築関連>

工事部門においては、オフィス、データセンター、工場等の耐火被覆工事が比較的堅調に推移したものの、物流関係の大型工事案件の受注がやや振るわず、工事売上高は前年同期比で微減となりました。販売部門においては、耐火被覆材、内装仕上げ材、CFRP型材の販売等が堅調に推移したこと、価格転嫁が浸透しつつあることにより、販売売上高は前年同期比で増加しました。一方、利益面では、原料・燃料費高騰による製造原価の上昇等の影響により前年同期比で減少となりました。

その結果、建築関連全体の売上高は3,702,910千円(前年同期比3.2%増)、営業利益は716,931千円(前年同期比16.9%減)となりました。

<プラント関連>

工事部門においては、電力、化学、鉄鋼等の定期修繕工事、メンテナンス工事関係は比較的堅調に推移しているものの、大型建設工事案件については、想定はしていたものの、ここ数年続いていた需要が一服したことで、工事売上高としては前年同期比で減少しました。一方、販売部門においては、国内一般顧客向け製品等の需要量の回復がやや遅れているものの、海外向け販売が堅調に推移したこと及び価格転嫁が浸透しつつあることから、販売売上高は前年同期比で増加しました。

その結果、プラント関連全体の売上高は5,282,563千円(前年同期比23.9%減)、営業利益は616,981千円(前年同期比46.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて365,694千円減少し、16,085,036千円となりました。

(流動資産)

流動資産については、前連結会計年度末に比べて473,137千円減少し、10,052,249千円となりました。これは主に、現金及び預金が740,217千円、仕掛品が162,301千円、その他が219,789千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が314,874千円、完成工事未収入金が1,393,611千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産については、前連結会計年度末に比べて107,442千円増加し、6,032,787千円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が246,154千円増加したものの、機械装置及び運搬具(純額)が78,246千円、建設仮勘定が22,212千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債については、前連結会計年度末に比べて365,258千円減少し、2,728,429千円となりました。これは主に、契約負債が137,518千円、1年内返済予定の長期借入金が96,500千円増加したものの、工事未払金が85,905千円、未払法人税等が277,137千円、賞与引当金が187,163千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債については、前連結会計年度末に比べて98,405千円減少し、1,177,798千円となりました。これは主に長期借入金が146,536千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて97,969千円増加し、12,178,808千円となりました。これは主に、利益剰余金が109,678千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました予想数値からの変更は行っておりません。今後、さらに経済及び事業環境が一層悪化する等の事態が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,463,552	4,203,770
受取手形、売掛金及び契約資産	2,652,186	2,337,311
電子記録債権	796,425	867,189
完成工事未収入金	2,796,371	1,402,760
商品及び製品	525,040	544,070
仕掛品	135,563	297,865
原材料及び貯蔵品	138,247	161,494
その他	17,998	237,787
流動資産合計	10,525,386	10,052,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,125,388	1,371,542
機械装置及び運搬具（純額）	1,292,424	1,214,178
土地	2,721,445	2,721,445
建設仮勘定	32,500	10,287
その他（純額）	75,580	56,297
有形固定資産合計	5,247,339	5,373,752
無形固定資産	87,812	73,790
投資その他の資産		
その他	640,192	635,244
貸倒引当金	△50,000	△50,000
投資その他の資産合計	590,192	585,244
固定資産合計	5,925,344	6,032,787
資産合計	16,450,730	16,085,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,258	833,568
工事未払金	533,110	447,205
契約負債	174,392	311,910
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	423,048	519,548
未払法人税等	277,137	-
賞与引当金	280,655	93,491
完成工事補償引当金	16,842	8,437
工事損失引当金	9,394	3,068
設備関係支払手形	56,423	31,529
その他	383,425	379,670
流動負債合計	3,093,687	2,728,429
固定負債		
長期借入金	550,438	403,902
役員退職慰労引当金	172,657	182,833
健康被害補償引当金	106,500	146,500
その他	446,608	444,563
固定負債合計	1,276,203	1,177,798
負債合計	4,369,891	3,906,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,247	1,200,247
資本剰余金	938,887	942,331
利益剰余金	9,111,621	9,221,299
自己株式	△2,520	△50,346
株主資本合計	11,248,235	11,313,532
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	789,081	789,081
その他有価証券評価差額金	91,979	107,425
為替換算調整勘定	△48,458	△31,230
その他の包括利益累計額合計	832,603	865,276
純資産合計	12,080,839	12,178,808
負債純資産合計	16,450,730	16,085,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,524,916	8,985,473
売上原価	7,690,801	6,769,892
売上総利益	2,834,115	2,215,581
販売費及び一般管理費	1,535,241	1,554,085
営業利益	1,298,873	661,496
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,711	14,343
健康被害補償引当金戻入額	15,242	7,130
為替差益	14,191	24,970
賃貸収入	16,100	15,858
その他	4,220	10,842
営業外収益合計	60,467	73,144
営業外費用		
健康被害補償引当金繰入額	-	60,000
支払利息	5,096	4,559
賃貸費用	3,728	3,065
固定資産除却損	4,666	4,290
その他	2,880	2,466
営業外費用合計	16,371	74,381
経常利益	1,342,969	660,258
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,286
特別利益合計	-	3,286
特別損失		
減損損失	11,143	9,770
投資有価証券売却損	-	446
特別損失合計	11,143	10,217
税金等調整前四半期純利益	1,331,825	653,327
法人税、住民税及び事業税	349,800	130,937
法人税等調整額	213,380	91,190
法人税等合計	563,180	222,127
四半期純利益	768,645	431,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	768,645	431,200

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	768,645	431,200
その他の包括利益		
土地再評価差額金	△52,278	-
その他有価証券評価差額金	1,055	15,445
為替換算調整勘定	4,516	17,227
その他の包括利益合計	△46,706	32,673
四半期包括利益	721,938	463,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,938	463,873
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,587,813	6,937,103	10,524,916	—	10,524,916
計	3,587,813	6,937,103	10,524,916	—	10,524,916
セグメント利益	862,570	1,142,094	2,004,664	△705,791	1,298,873

(注) 1. セグメント利益の調整額△705,791千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第3四半期連結累計期間に11,143千円の減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,702,910	5,282,563	8,985,473	—	8,985,473
計	3,702,910	5,282,563	8,985,473	—	8,985,473
セグメント利益	716,931	616,981	1,333,913	△672,417	661,496

(注) 1. セグメント利益の調整額△672,417千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第3四半期連結累計期間に9,770千円の減損損失を計上しております。